

2015年2月24日

ガス水道局発注工事にかかわる談合疑惑に関し、
上越市議会に百条委員会を設置して解明を求める請願書

上越市議会

議長 佐藤 敏 様

請願者

くびき野地域問題研究会

会長 後藤紀一

上越市大潟区雁子浜284

紹介議員

一 請願の趣旨

2013年12月の上越市議会定例会において、上越市ガス水道局発注工事にかかわる談合疑惑問題が取り上げられました。市民の中では、どのように解明が進むのか、大きな関心をもって注視されてきました。そうしたことから当会は、2014年3月議会に陳情を、そして同年9月議会には請願を提出し、議会として百条委員会を設置して、真相解明にあたるよう求めてきました。

2013年12月19日、議会での指摘を受けてガス水道局に真相解明のための内部調査委員会が設けられ、2014年1月24日市議会建設企業常任委員協議会に内部調査の中間報告が行われました。さらに2月17日には同委員協議会に「本支管工事に伴う談合情報に関する調査報告について・・・1」が提出されました。そこでは、『文書類に関する調査結果などから、談合の有無は判断できないが、録音データに関する調査結果には談合の存在を疑う発言がある』として公正取引委員会に通知することが報告され、その後上越市は公正取引委員会に通知しました。

これらの経過を踏まえて、2014年3月議会に、当会を含む3団体がそれぞれ、疑惑解明のために百条委員会の設置を求める陳情書を提出しました。

当会の陳情書は冒頭、「談合問題は、市民の納めた税金の使い方、公金の適正執行にかかわる市政の重要問題です。市政の監視に重大な責任を負う上越市議会として、『談合があったのか、なかったのか』を明らかにする必要があるのではないのでしょうか。」と述べ、上越市議会としての真相解明を求めておりました。

審査の結果は、「市内3団体の代表が『市議会が先頭に立って真相究明を』と意見陳述したが、『現段階では必要ない』として、いずれも委員の賛成なしで同常任委として不採択とした。」(2014年3月11日「上越タイムスニュース」というものでした。

また、同ニュースでは、「陳述後の委員間討議で委員から『内部調査以上のものを明らかにすることができるのかどうか。責任も問われることを憂慮する』『市長名で(公取委に)通知を出したことを信じたい。推移を見守りたい』『公取委の調査に委ね、結果を見守るべきだ』との“慎重論”が相次ぎ、現段階では百条委は不要との意見に終始した。」とも報道されております。

2014年3月議会から半年が過ぎても、公正取引委員会の動きはまったく見えないことから、当会は2014年9月議会に「上越市議会に百条委員会を設置し、ガス水道局発注工事にかかわる談合疑惑の解明を求める請願書」を提出いたしました。そこでも「推移を見守りたい」「公取委の調査を見守るべきだ」とされ、請願は不採択とされました。

それからさらに半年が過ぎ、公正取引委員会に通知してからすでに1年を経過しております。談合疑惑が明らかになってからは、1年4か月にもなろうとしております。このまま放置すれば、談合疑惑そのものが風化する恐れさえあります。最早「時期尚早」ではありません。

今こそ、上越市議会が百条委員会を設置し、率先して真相解明に取り組む必要があるのではないのでしょうか。公正取引委員会で行われるであろう調査と、上越市議会百条委員会での調査とがあいまって、真相解明がより効果的にすすむものと思います。

二 請願事項

ガス水道局発注工事にかかわる談合疑惑に関し、上越市議会に地方自治法第100条にもとづく特別委員会を設置して、真相の解明にあたっていただきたい。